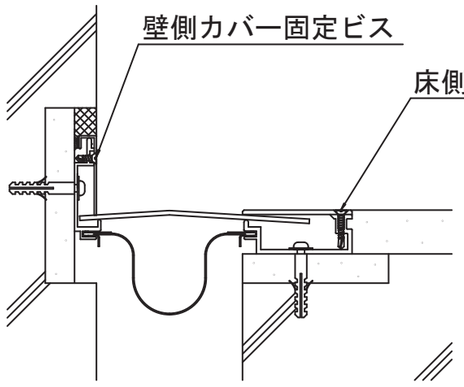
カネソウEXJoint

床用EXジョイント取扱説明書

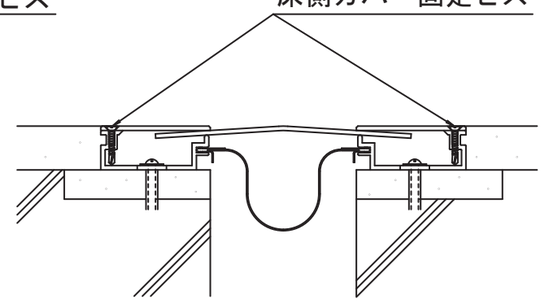
1．カバー固定ビスの使用箇所・種類
2．床用EXジョイントの取付け上の注意点
3．スライドプレート連結金具の取付方法※ステンレス製（SX）のみ
4．エンドカバー(※オプション品)の取付方法

1. カバー固定ビスの使用箇所・種類

床用EXジョイントのカバー固定ビスは製品・サイズにより異なります。固定ビスの使用箇所・種類については下図を参照ください。



SX56A/NS/GP/Z･56NS/GP/Z･AX56A



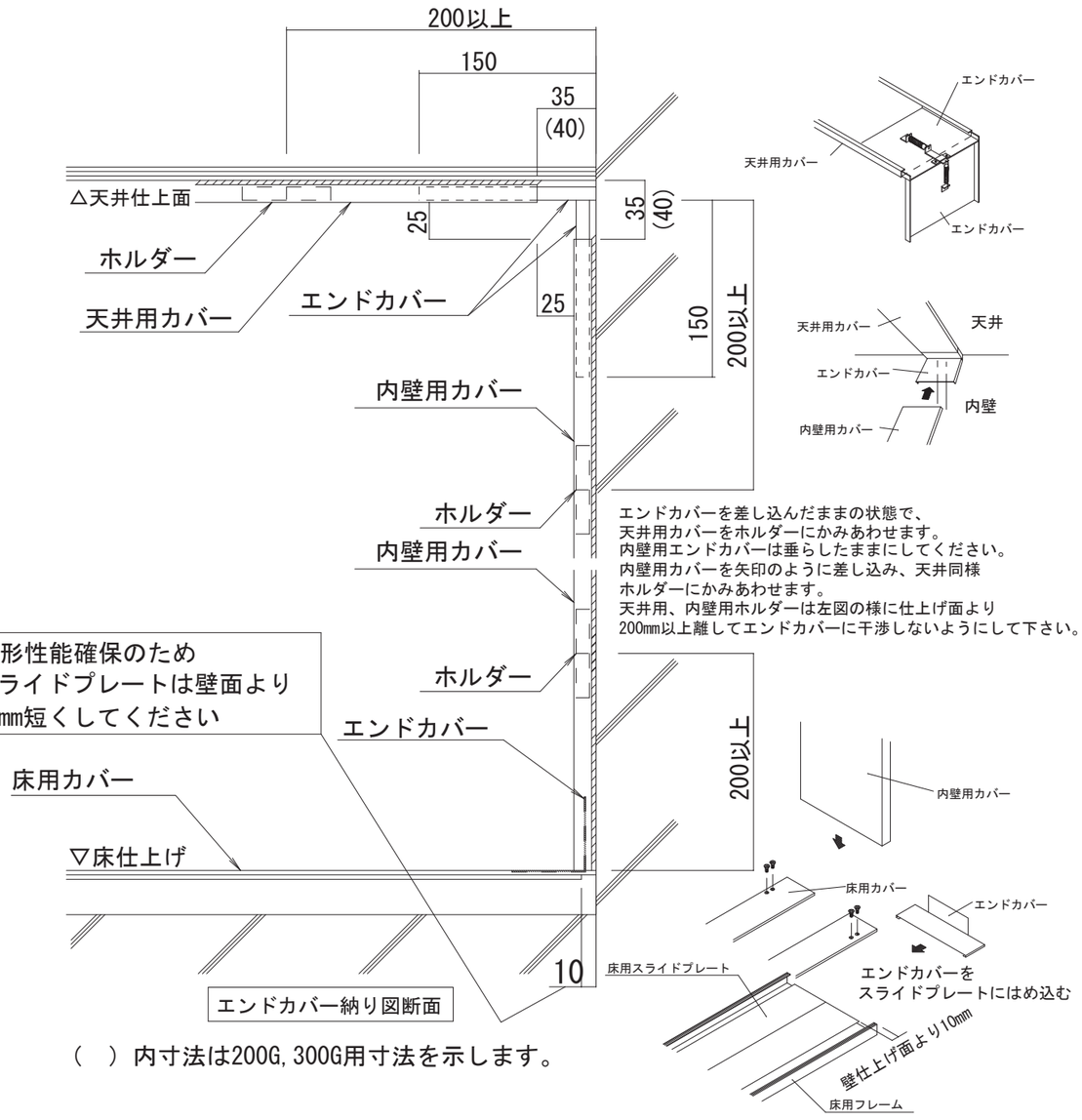
SX66/NS/GP/Z･AX66

製　　品　　名	床側カバー固定ビス	壁側カバー固定ビス
SX66/NS/GP/Z- 50F･100F･50G･100G･150G･200G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×25	――
SX66NS/GP/Z-300G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×16	――
SX56A/NS/GP/Z 50F･100F･50G･100G･150G･200G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×25	SUS　皿タッピング 呼び4×12　C1
SX56NS/GP/Z-300G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×16	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×16
AX66-50G･100G･150G･200G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×25	――
AX56A-50G･100G･150G･200G	SUS　皿ドリルネジ 呼び4×25	――

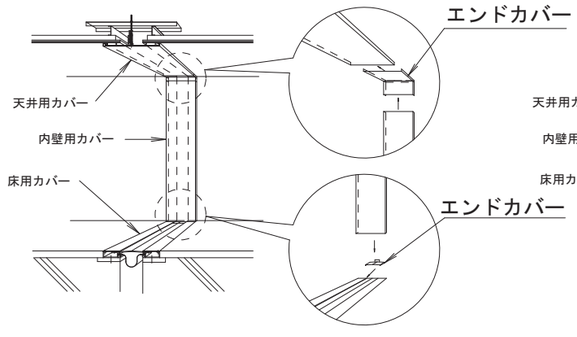
㈱カネソウ株式会社

１８１－３Ｋ

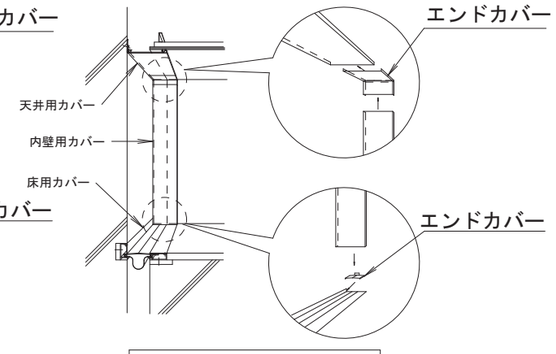
4. エンドカバーの取付方法



（　）内寸法は200G,300G用寸法を示します。



平一平タイプ納まり図

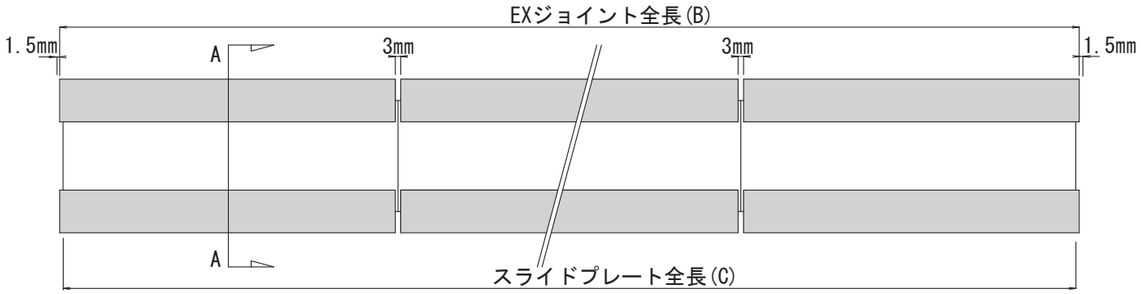


コーナータイプ納まり図

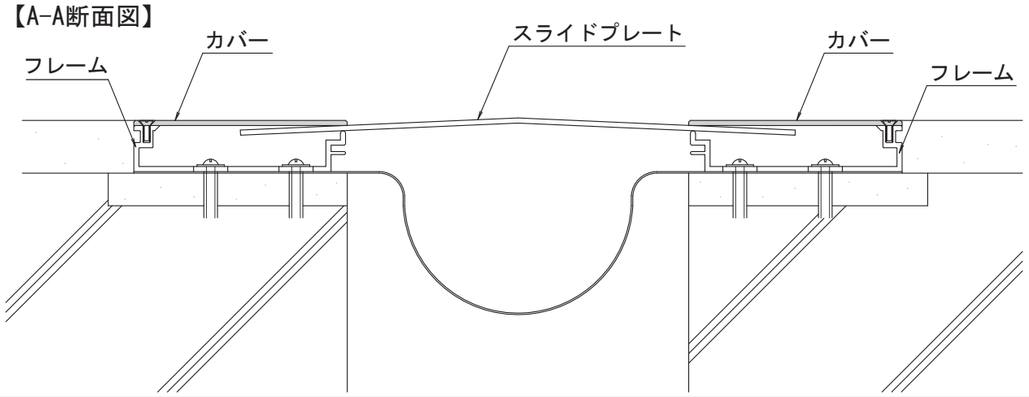
2. 床用EXジョイントの取付け上の注意点

床用ＥＸジョイントを直射日光が当り温度差が大きくなるような場所に取り付ける場合、必ずカバーとカバーの間およびカバー、スライドプレート両端部に隙間を設けてください。隙間を設けないと温度上昇に伴いカバー、スライドプレートが膨張し、変形したり外れてしまう恐れがあります。

【平面図】



【A-A断面図】

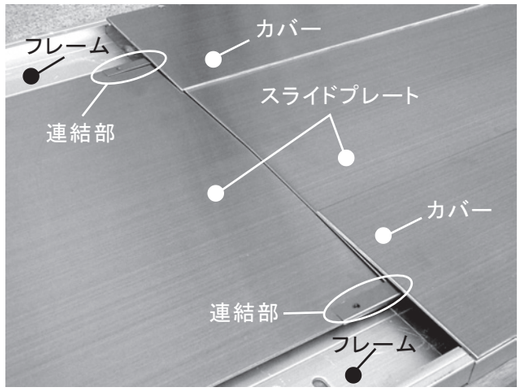


カバーの隙間についてはカバーの長さ3000㎜（定尺）に対しカバーとカバーの間は3㎜、両端部は1.5㎜確保してください。スライドプレートの隙間についてはEXジョイント1Mに対し1㎜の隙間を設けてください。EXジョイント全長(B)が10Mの場合10㎜をEXジョイント全長(B)からひいた寸法がスライドプレート全長（C)となります。エンドカバー（オプション）を取付けた場合は先に算出した寸法からさらに20㎜ひいた寸法をスライドプレート全長（C)として下さい。

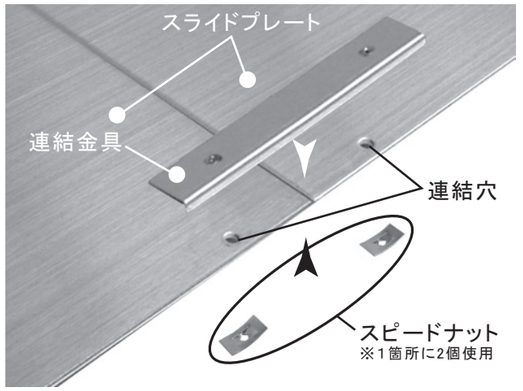
※NSタイプの定尺はフレームの長さ3000㎜、カバーの長さは1500㎜となり、フレーム１本に対してカバーは２枚納まる仕様です。

3. スライドプレート連結金具の取付方法

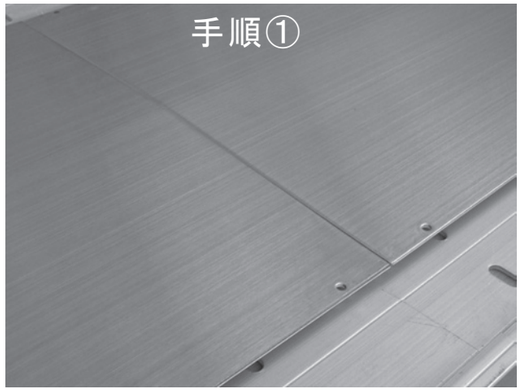
※ステンレス製SX56(AZ)・SX66(Z)のみの設定です。



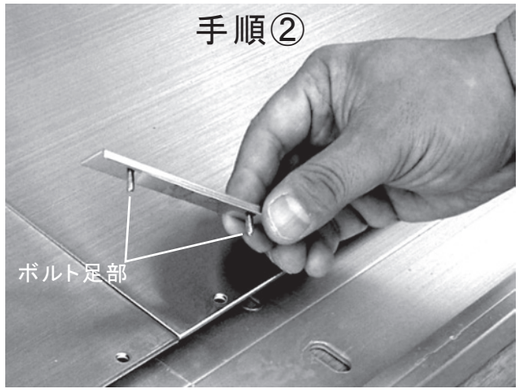
連結金具を利用して隣接するスライドプレートを連結する手順を説明します。
※上の写真は連結金具取付後の写真です。実際はカバーを付ける前の作業となります。



スライドプレートの上側から連結金具のボルト足部を差し込み。下側からはスピードナットを連結金具のボルト部足に差し込み固定します。

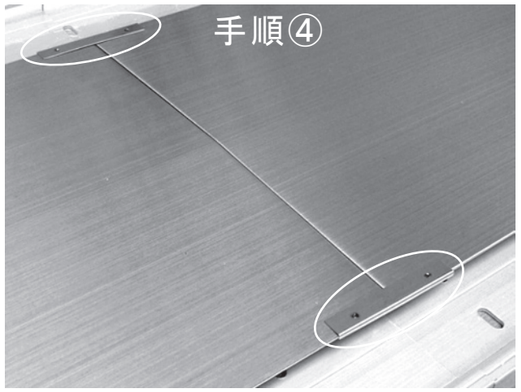


フレームの上にスライドプレートの端部を合わせて設置します。



スライドプレート上側から連結金具のボルト足部を連結穴に差し込みます。その際は連結金具の曲げが外側にくるように設置してください。

スライドプレート下側に出ている連結金具のボルト足部にスピードナットを指でノック音がなくなるまで差し込み固定してください。スピードナットは連結金具１個につき2ヶ所固定してください。



完了です。この後にカバーを設置してください。
※SX66タイプ（上写真）は連結１箇所につき左右2個、SX56（A）タイプは1個（壁側は不要）の作業となります。

スライドプレート間にズレや、すき間が発生する可能性がございます。
付属の金具にて必ず連結していただくようお願いいたします。